

西淀川の交通・移動について  
考えてみよう!

第3回



第3回 8月21日(土) 13:30~15:30

「話し合い：西淀川区の移動・外出について話し合おう」

- あなたが住んでいる西淀川は、みんなにとって住みやすい町になっていますか？
- 今日は、西淀川区内の移動・外出について、自由に話し合います。
- 高齢者や障害者など、移動に困っている人が、どういう情報があれば便利に外出できるのかを考えます。

## ① このプロジェクトの経緯と目的

### ○このプロジェクトの経緯

あおぞら財団では、西淀川地区沿道環境に関する連絡会、西淀川交通まちづくり意見交換会・討論会などに関わり、西淀川区内の交通・移動環境に対する様々な提言を行ってきました。行政に対して提言を続けていくことは重要ですが、市民自らが提言した内容を実現化し、移動環境を少しでもよりよいものに変えていくという行動も重要です。このプロジェクトでは、市民が中心となって、交通・移動環境をよりよいものにしていく行動をおこすきっかけにしたいと考えています。

### ○プロジェクトの目的

本プロジェクトでは、市民が主体となって、西淀川区内の交通や移動に関する情報を収集し、地域内の交通や移動の課題について話し合います。調査した情報は、マップや報告書としてまとめて、西淀川区民に広く公開します。

## ② プロジェクトの流れ

時期	内容
1回目 7月17日（土）	●お話&疑似体験！ 車いすの視点でまちをチェックしよう
2回目 7月24日（土）	●お話&疑似体験！ 視覚障害と高齢者の視点でまちをチェックしよう
3回目 8月21日（土） 13:30～15:30	●話し合い：西淀川区の移動・外出について話し合おう ・西淀川区内の移動・外出について、自由に話し合います。 ・どういう情報があれば便利かを考えます。
4回目 10月23日（土） 13:30～15:30	●調査：西淀川区内の移動・外出の現状について調べよう（1） ・西淀川区内の公共交通機関、商業施設などの移動のしやすさについて調べます。
5回目 11月13日（土） 13:30～15:30	●調査：西淀川区内の移動・外出の現状について調べよう（2）
6回目 12月11日（土） 13:30～15:30	●調査：西淀川区内の移動・外出の現状について調べよう（3）
8～10回 1～3月	●話し合い：調べた内容の使い方について話し合おう ・調べた内容、話し合った内容をどのように活かしていくのかを話し合います。
3月	●調べた情報を整理し報告書としてまとめ、発信しよう ・移動・外出の情報を必要としている人に配布します。 ・大阪市などに提出し、外出・移動環境の改善に向けた検討を求めます。

### ③ 本日の講師の紹介



松村 暢彦

1968年兵庫県生まれ

大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻  
准教授

専門は交通計画、都市計画で、「モビリティ・マネジメントによる態度・行動変容に関する実証的研究」や「まちづくり・都市計画の公共受容に関する研究」をなさっています。

枚方市におけるマルチパートナーシップ型交通まちづくり活動、フードマイレージ教材化研究会（あおぞら財団主催）をはじめ、様々な住民活動に携わっておられます。また、地方自治体の審議会、審査会の委員として参加されています。

### ④ 本日の内容

13:30～（5分）	あいさつ
13:35～（5分）	1回目と2回目のご意見の報告
13:40～（25分）	おはなし：市民まちづくり活動をはじめするためには （松村暢彦先生）
14:05～（30分）	意見交換①（西淀川の交通問題に対する解決策について） 1回目、2回目の内容、松村先生のお話を踏まえて、西淀川の交通問題を整理し、それに対する解決策について話し合います。 2班に分かれて、自由に話し合った後、全体で発表します。
14:35～（10分）	休憩
14:45～（35分）	意見交換② 意見交換①の内容をふまえて、大切にしていきたいこと、調べたい事、発信したいことについて話し合います。
15:20～（10分）	アンケートに記入 来週以降の取り組みについて

# 西淀川交通まちづくりプロジェクト ご意見の紹介

## ① 第1回のご意見

7月17日(土)に開催しました第1回西淀川交通まちづくりプロジェクトでいただいたご意見の一部をご紹介します。

### 車いす利用者への共感について

#### ■車いす利用者の視点について

- ・車いすに乗っている人は楽だと思っていたが、乗ってみて初めて恐怖がわかった。
- ・車いすがどんなに大変かわかり、車いすへの関心を持った
- ・健常者、障がい者の目線の違いを感じた
- ・自転車や雑草などに圧迫される感じがある
- ・乗っている人は目線が低い分、怖さがある
- ・車いすの振動が思ったより大きい

#### ■車いすの介助の難しさについて

- ・車いすを押す人にも負担がある
- ・車いすを押すとき前方に注意しなければならない
- ・車いすを介助する際、勾配の傾きや長さを判断するのが難しい。



### 歩道上のバリアについて

#### ■段差や勾配について

- ・車いす移動は段差に加えて少々の坂が思いのほか大変である。
- ・段差、坂、左右の傾きが複合した個所は特に怖い。
- ・歩道と車道の間段差は必要なのか？
- ・道路の傾き、段差の走りづらさが自分で乗ってみてわかった。

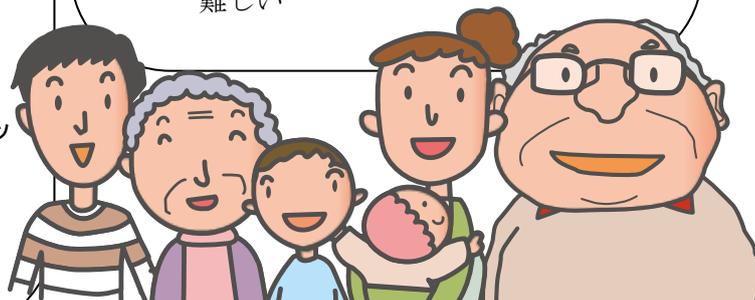
#### ■路面について

- ・マンホールの溝や視覚障がい者のブロックの溝に気を付ける。

### 人々の公共心について

#### ■公共心について

- ・若い人への公共心の意識付けが足りない
- ・日常生活での新しい公共心を育てる
- ・移動への自由について、より身近さを感じる必要がある。
- ・協力と気恥ずかしさのバランスが難しい



## ② 第2回のご意見

7月24日(土)に開催しました第2回西淀川交通まちづくりプロジェクトでいただいたご意見の一部をご紹介します。

### 高齢者・視覚障害者への共感について

#### ■高齢者への共感について

- ・高齢者は関節など体の自由がききにくいことがよくわかった

#### ■視覚障害者への共感について

- ・アイマスクで階段を昇降するのは、段差がわからなくて怖かった
- ・アイマスクをすると、方向感覚がわからなくなる
- ・バスの乗降など、どんなことでお困りなのか具体的によくわかった

#### ■盲導犬について

- ・盲導犬に声をかけたり触ったりしてはいけないと知った。
- ・盲導犬のありがたさ、かしこさがわかった

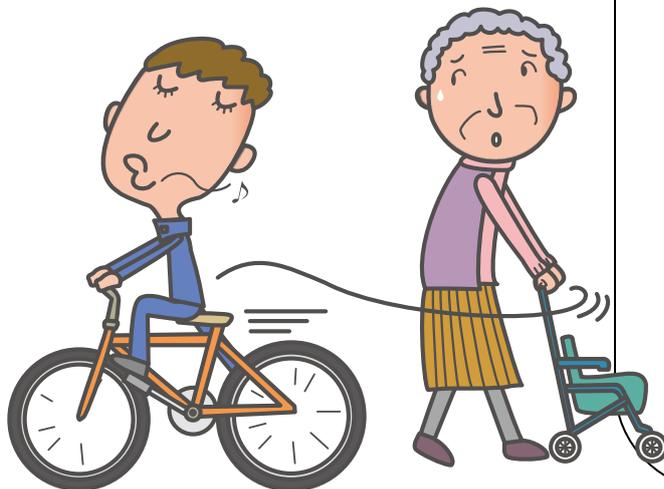
#### ■視覚障害者への介助について

- ・誘導の仕方を習ってよかった
- ・積極的に目の見えない人に声をかけたい
- ・誘導するのは相手にけがをさせないようにと緊張する。
- ・ガイドするのは大きい声ではっきりと、的確に誘導しないといけない。



### 点字ブロックについて

- ・点字ブロックを意識できた
- ・点字ブロックは自転車ですべったりするなど、普段は邪魔だと思っていたが、重要であることがわかった。



### 公共心について

#### ■みんなのマナーについて

- ・みんなのマナー向上をどうやって喚起するか？
- ・市バスの運転手が不親切なのはもってのほか

#### ■自転車のマナーについて

- ・自転車のマナーが特に悪い
- ・携帯をいじりながら自転車に乗るのは危険
- ・自転車のマナーは誰がどう教育すべきか？
- ・自転車に歩道を走らせるのがそもそも間違い
- ・歩道では自転車の方が遠慮すべき

西淀川区内のバリアやバリアフリーに関する意見  
(第2回交通まちづくりプロジェクトより)

— 高速道路	🌳 なごみスポット・公園	⛩ 寺
— JR	P 無料駐輪場	⛩ 神社
— 阪神電車	P 有料駐輪場	🏪 スーパー
🚦 信号	🚲 自転車店	🏪 コンビニ
🚽 WC 公共トイレ	🎓 学校	
📮 郵便局	🏥 病院	

●出来島駅周辺  
駐輪場があるけれど、手前の路上に放置駐輪する人が多い。

●千舟駅周辺  
放置駐輪は綺麗になったけれど、元々狭い。

●大野川緑陰道路  
バイクがたくさん入ってきて危険。  
入り口が車いすで入りにくくなっている。

●福駅の周辺  
利用者が増えて、放置駐輪が増えている。

●歌島交差点のエレベータ  
音声案内が「こちらのドアが開きます」としかいわない。視覚障害者の方はどちらのドアが開くのがわからない。

●歩道の段差  
以前は段差が大きかったが、小さくなった。

●区役所・図書館  
緑陰道路から直接、区役所・図書館にアクセスできるという。

●西淀川税務署前の歩道  
歩道が狭くて通りにくい

●元気市場の前の歩道  
お店の前の駐輪が多くて通行しづらい。  
縁石をなくして通りやすかったのに、縁石をまた作っている。

●塚本駅の駅前広場  
放置駐輪が多くて、通行しづらい。

●家の前にプランターが置いてあり、歩道が狭くなっている。

# 参考資料：西淀川の現状

## ① 西淀川区の人口

### ①人口の推移

- 人口は2005年で、95,621人。
- 1965年頃を境に、増加傾向から減少へと転じ、1975年頃からはほぼ横ばいの状態となっていて、現在は微増傾向にある。

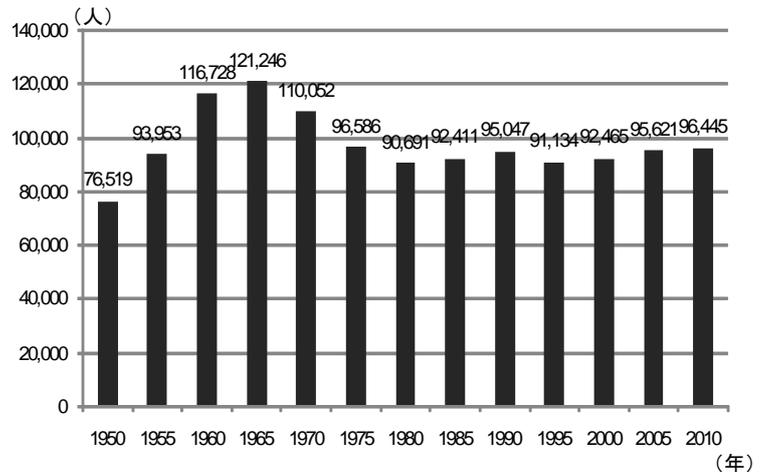


図1 人口の推移

### ②1世帯あたりの人数の推移

- 世帯数は42,687世帯、1世帯当たりの人数は2.26人で年々減少している。

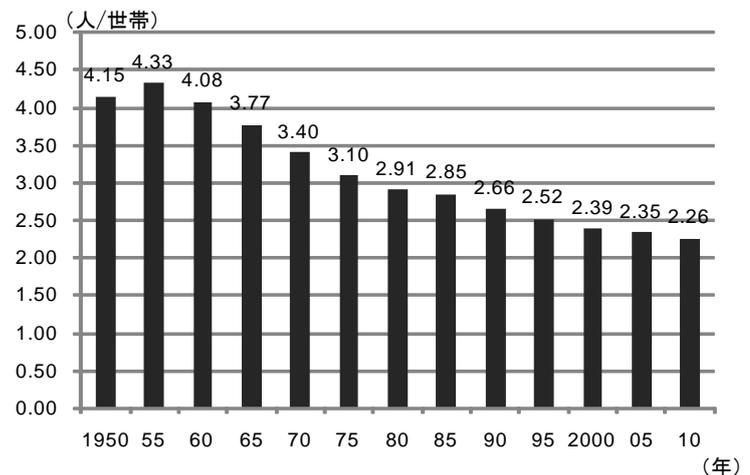


図2 1世帯あたりの人数の推移

### ③高齢世帯数の推移

- 65歳以上の高齢者人口は、2005年で18.8%（17,994人）と年々上昇しており、着実に人口の高齢化が進んでいる。
- 高齢世帯で単身世帯・夫婦世帯の数が増加している

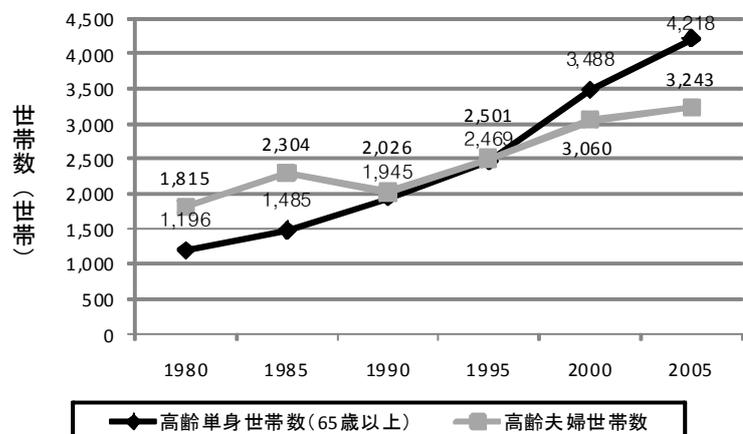


図3 高齢世帯数（単身世帯・夫婦世帯）

#### 参考資料

- 1) 総務省統計局ホームページ：平成17年国勢調査、<http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2005/index.htm>
- 2) 西淀川区ホームページ（住民基本台帳データ2010年7月1日）：<http://www.city.osaka.lg.jp/nishiyodogawa/index.html>

## ② 西淀川区の施設の立地状況

- 西淀川区にある病院は6施設である。あり、スーパーマーケットは10箇所あり、人口密度の高い東側の地区に多く立地している。

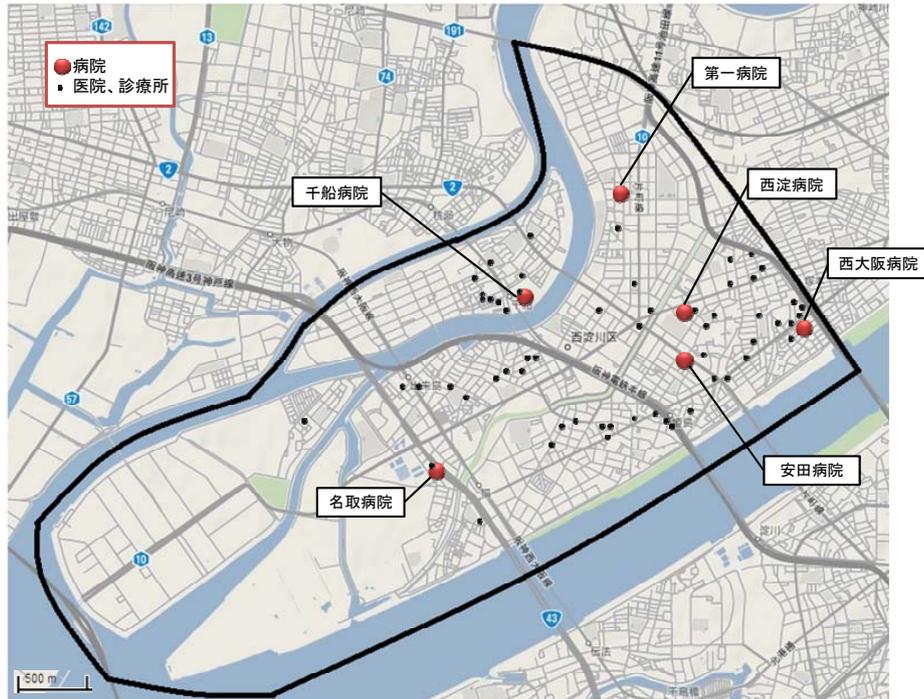


図 4 西淀川区の商業施設、病院、医院・診療所の位置



図 5 西淀川区の商業施設の位置

参考資料

- 3) 西淀川区医師会・西淀川区歯科医師会・西淀川区薬剤師会：第三版西淀川区内のよくわかる医療マップです、2006.2.
- 4) 日本全国スーパーマーケット情報 HP、<http://super.ffa15.com/>

### ③ 西淀川区の道路状況

- 西淀川区は大阪府大阪市の北西部に位置し、区の西側は大阪湾、南側は淀川、北側は神崎川に面しており、3方を川や海に囲まれている。
- 区内の幹線道路としては、国道2号、国道43号、淀川通をはじめ、阪神高速道路11号池田線・3号神戸線・湾岸線等が整備されている。
- 区内の自転車道としては、大野川緑陰道路、なにわ自転車道、西島自転車歩行者道の3つの大規模な自転車走行空間が整備されている。



図 6 西淀川区の道路状況

参考資料

5) 国土交通省国土地理院：基盤地図情報閲覧サービス、<http://www.gsi.go.jp/kiban/etsuran.html>

#### ④ 西淀川の鉄道交通

- 区間を通過している鉄道路線は、JR 東海道本線（区内に 1 駅）、JR 東西線（区内に 2 駅）、阪神電鉄本線（区内に 2 駅）、阪神電鉄西大阪線（区内に 2 駅）の 4 路線である。
- 鉄道駅は区内に 7 つある。最も多い乗降客数は JR 塚本駅で 16,914 人であり、最も少ないのは阪神電鉄の出来島駅の 3,741 人である。

表 1 鉄道駅の 1 日平均乗降客数（2005 年）

鉄道事業者名	駅名	1 日平均乗降客数
J R 東西線	加島	7,361
	御幣島	10,580
J R 東海道本線	塚本	16,914
阪神電鉄本線	千船	10,138
	姫島	6,736
阪神電鉄西大阪線	出来島	3,741
	福	4,075



図 7 鉄道駅の位置

参考資料

6) 大阪市計画調整局：平成 19 年大阪市統計書 12 運輸及び通信、<http://www.city.osaka.jp/keikakuchousei/toukei/G000/Gyh19/Gn00/Gn00.html>

## ⑤ 西淀川のバス交通

- 区内を運行しているバスは大阪市バス、阪神バス、地域密着型の赤バスがある。路線バスは9系統走っており走行時間帯は6:00~21:00の間が多く1日平均20便程度走っている。またJR御幣島駅の近くにバスターミナルが整備されている。
- 南北方向に鉄道が整備されており、東西方向は路線バスが走っている状況である。鉄道とバス交通が重要な交通機関となっているが、幅員の狭い道路が多く、バスルートが限られるため、路線バスが通れない道路が多く存在する。
- 西淀川区は地域に密着した交通機関として「赤バス」が走っている。赤バスは大阪市交通局が運営しており、2002年から運行されている。料金は100円均一で停留所間隔が短い。運行時間帯は9時から19時の間で1日16便運行しており、平均1.5便/時間である。福祉施設や公共施設、商店街、病院等を廻る路線で区役所や病院、買い物施設などと住宅地を結ぶ。車両は約20人乗りの小型ノンステップバスである。走行ルートは8の字のように走っており、一方向の運行となっている。走行ルートを1周するのに約55分かかる。
- 大阪市交通局が2010年3月に発表した市営バス事業のアクションプランにより、経済性も公共性も著しく低い路線と評価されており、2011年3月末に路線再編の実施が決定されている。

市バス路線図(平成22年4月現在)

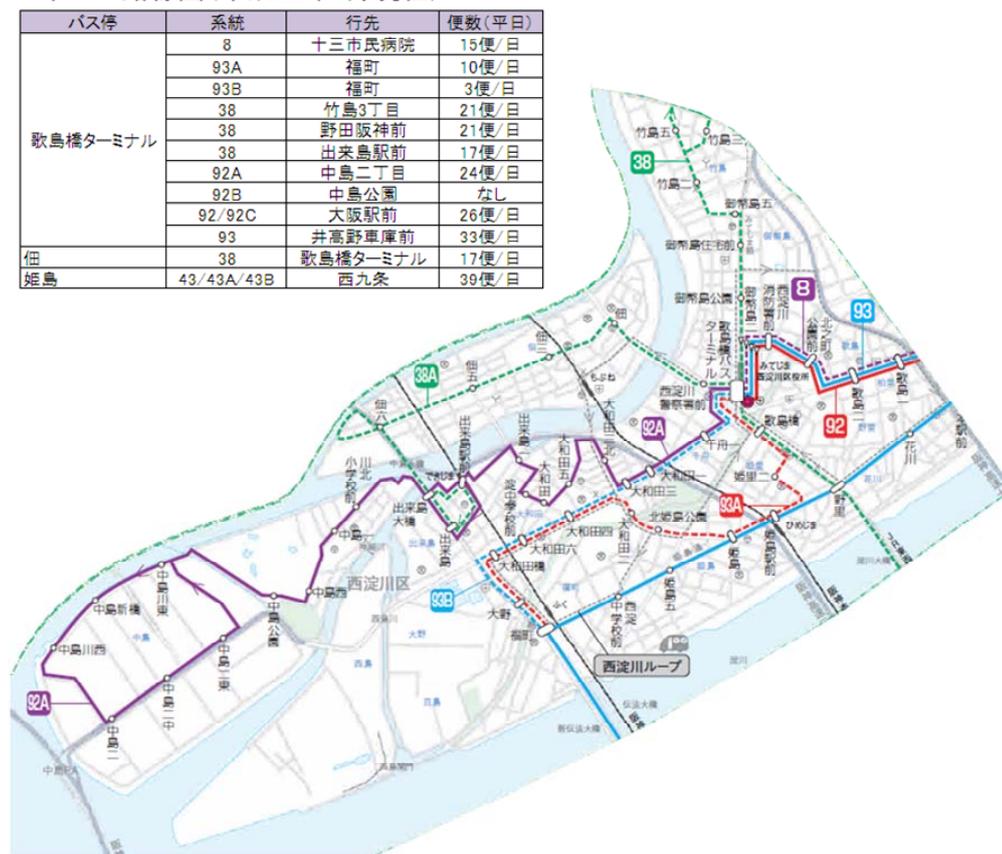


図 8 バス路線図

### 参考資料

- 7) 大阪市交通局：アクションプラン(平成22年3月)、[http://www.kotsu.city.osaka.jp/jigyougaiyou/houshin/090610\\_bus-actionplan-an.html](http://www.kotsu.city.osaka.jp/jigyougaiyou/houshin/090610_bus-actionplan-an.html)
- 8) 大阪市交通局：バス路線図(2010年4月現在)、<http://www.kotsu.city.osaka.jp/eigyoyou/route-map/top.html>

## ⑥ 西淀川地域における福祉交通の現状

### ①福祉交通サービスに関わる制度

- 大阪市内には、高齢者を対象とした「敬老優待乗車証交付事業」と、重度障害者を対象とした「大阪市重度障害者等タクシー料金助成事業」の2種類の事業を実施している。

表 2 福祉交通サービスに関わる制度

制度	事業主体	内容
敬老優待乗車証交付事業	大阪市	高齢者の社会参加を促進するために、市営交通機関(バス・地下鉄・ニュートラム)に無料で乗車できる敬老優待乗車証を交付している
大阪市重度障害者等タクシー料金助成事業	大阪市	・重度障害者等タクシー利用券を、年間1人96枚交付している ・重度の障害のある人等が日常生活を営むうえで、タクシーの利用が必要な場合、初乗り料金分を助成することにより、社会参加を促進し、福祉の向上を目的としている

### ②病院送迎バス

- 西淀川区には病院が6つあり、そのうち3つの病院（第一病院、名取病院、西淀病院）が送迎バスを運行している。

表 3 各病院の病床数と病院送迎バスの運行有無

	第一病院	千船病院	名取病院	西大阪病院	西淀病院	安田病院
病床数	213	292	83	142	218	60
病院送迎バスの有無	○	×	○	×	○	×

表 4 病院送迎バス概要

	第一病院	西淀川病院	名取病院
病床数	214床	218床	83床
1日外来患者数		約400~500人	約280人
送迎バス車両		キャラバン(9人乗り)	キャラバン(9人乗り)
車両数		5台	2台
運行形態		民間に業務委託	病院が運行
運転手数		8名	4名(病院職員3名、派遣1名)
運行日	月曜日~土曜日	月曜日~土曜日	月曜日~土曜日
運行時間	8:50~17:00	8:00~18:00	8:00~13:00
1便当たり運行時間	約10分	約50分	約20~30分
運行ルート	2ルート	5ルート	4ルート
総運行便数	56便	51便	16便
1便当たり利用者数		3人	5~6人
運賃	無料	無料	無料
送迎バス導入の背景		患者の足の確保のため。	送迎要望の声があり循環バスを走らせるようになった。

#### 参考資料

- 9) 大阪市健康福祉局：敬老優待乗車証交付事業 [http://www.city.osaka.jp/kenkoufukushi/kourei/kourei\\_03.html](http://www.city.osaka.jp/kenkoufukushi/kourei/kourei_03.html)
- 10) 大阪市健康福祉局：重度障害者等タクシー料金助成 [http://www.city.osaka.jp/kenkoufukushi/handi/handi\\_33.html](http://www.city.osaka.jp/kenkoufukushi/handi/handi_33.html)
- 11) 大阪市情報公開室：市民の声 みなさんからいただいた市民の声 福祉 <http://www.city.osaka.jp/jyuhokoukaishitsu/04/opinion/02.html#no03>
- 12) 大阪労働衛生センター第一病院ホームページ：<http://www.osaka-daiichi-hosp.org/>

### ③個別移送サービスの現状

西淀川区で個別移送サービスを行っている事業者は以下の6つである。

- ・ 訪問介護ステーション げんきな郷むら
- ・ 福祉介護タクシー やまびこ
- ・ 関介護サービスセンター
- ・ テンダー
- ・ まるよし介護タクシー
- ・ 南和タクシー（株）

このうち、訪問介護ステーションげんきな郷、福祉介護タクシーやまびこ、関介護サービスセンターの3つの事業者にインタビュー調査を行った。概要は以下のとおりである。

- 訪問介護ステーションげんきな郷は、西淀川区で唯一の福祉有償運送を行っている事業者である。登録者数は25名で実際の利用者は5,6名である。利用者は高齢者が多く、単独世帯、夫婦世帯が多い。目的は通院・買い物が多い。
- 福祉介護タクシーやまびこは介護タクシーを行っており、利用者は「リフト付き」タクシー券（重度障害者等タクシー利用券）を利用する人がほとんどであるということであった。行先は主に病院である。
- 関介護サービスセンターは介護タクシーを行っている。利用者は「リフト付き」タクシー券を利用する人が多くなっているということであった。
- 個別移送サービスの課題としては、福祉有償運送は事業としては赤字経営になること、介護タクシー利用者では「リフト付き」タクシー券が足りなくて困っている人がいることが挙げられる。

表 5 福祉移送サービスの実態概要

福祉移送サービス事業者	事業内容	スタッフ	登録者	車両	利用人数	利用者	行動範囲・行先
訪問介護ステーションげんきな郷	・訪問介護サービス ・障害福祉サービス事業(福祉有償運送が中心)	10名(3人ドライバー)	25人	1台	5.6人	・高齢者 ・要支援・要介護が半々 ・単独世帯か、夫婦世帯がほとんど ・事務所周辺(佃)に住んでいる人が多い	・病院 ・買い物
福祉介護タクシー やまびこ	・介護タクシー ・ヘルパーステーションの運営	17名	/	3台	1日あたり12~13人(全体で約130人)	・区内の身体障害者 ・多くは「リフト付き」タクシーチケットを利用する人 ・高齢者より若年層が多い ・養護学校に通う障害を持った子供 ・40~50代	・主に病院(千船病院・第一病院、西淀病院など) ・買い物 ・親類宅の訪問 ・墓参りもあり 8割方1区内
関介護サービスセンター	・介護事業 ・介護タクシー	未確認		小型車3台 大型車2台	1日30人くらい	・「リフト付き」タクシーチケットを利用する重度障害者 ・車いすの人 ・介護保険を利用する高齢者	・主に病院 ・買い物 ・カラオケ、余暇など

